

被害が増えている特殊詐欺の手口

架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど、架空の事実を口実として金銭等を騙しとる手口です。

玖珠郡内で実際に起こった詐欺事件

■詐欺の手口①

携帯電話に「有料サイトの利用料金が未納です」などと、ショートメッセージが送られてきました。

メッセージに表示されている電話番号に電話をかけると「払わなければ裁判になる」などと言って脅され、金銭等を脅し取られそうになりました。

「コンビニで電子マネーカードを買って、カード番号を教えて」は、
詐欺です！



■詐欺の手口②

携帯電話やパソコンでインターネットを見ていたところ、「ウイルスに感染した」等のメッセージが表示されました。画面に表示された電話番号に電話をかけたところ、ウイルス駆除やサポート名目で金銭を騙しとられました。手口は、コンビニで電子マネーカードを買わせ、そのカード番号を教えさせるというものでした。

還付金詐欺

税金還付等に必要な手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る手口です。

玖珠郡内で実際に起こった詐欺事件

■詐欺の手口③

役場職員を名乗る人から「介護保険の払い戻しがあります」と電話がかかり、「本日中であればまだ手続きが出来ますので、銀行のATMに行って下さい」と言葉巧みにATMまで誘導されました。そして、犯人の指示通りにATMを操作させられ、犯人側の口座にお金を振り込んでしまうところでした。

令和3年は、お金を振り込む前に“おかしい”と気づいた、周囲にいた町民の方や金融機関の方々が声をかけたことにより、被害を未然に防ぐことができました。

「介護保険料の返還手続き等をATMですることは絶対にありません。
電話で「還付金の返還手続きがATMで出来ます」は詐欺です！」



特殊詐欺はあなたのお金狙っています！



大分県内における令和3年中の特殊詐欺被害の発生件数は、150件（被害総額は約8,178万円）で、発生件数の約75パーセントをコンビニ等で電子マネーを購入させてお金を支払わせる架空料金請求詐欺が占めています。

玖珠警察署管内でも、3件（被害総額約82万円）の特殊詐欺被害を認知し、そのうち2件（被害額約47万円）が架空料金請求詐欺でした。

詐欺の被害発生件数は依然として減らず、手口も巧妙化してきているため、日頃から警戒をしましょう。

令和3年 大分県と玖珠警察署管内の特殊詐欺被害額

